

第11期 メンバー募集のご案内

2024年12月16日(月) スタート

オープン・イノベーション推進者交流会議

～オープンイノベーション(OI)を推進する仕組み、OIの多様な展開、
新事業・次世代テーマの探索・創出と高付加価値の創造をめざす～

開催にあたって

日本企業には次代の中核事業を構築する新製品・新事業の開発が急務です。その中で「課題解決」「テーマ創出」から「新製品・新事業開発の変革」をめざすための手段であるオープン・イノベーション(OI)に注視し、積極的に取り組む企業が増えています。

企業研究会では、各社OI推進者が業種業態を超えて集い、OIの推進組織、マネジメント施策等について共同研究・分科会研究を行い、自社のOI推進に役立つ研究討議とその成果を共有すべく本交流会議を開設、今期で11年目を迎えます。

第11期本交流会議開催にあたり、趣旨にご賛同いただき、熱意あるメンバーの方々のご参加をお待ち申し上げます。

開催

期 間：2024年12月～2025年9月（全10会合）

日 時：年間プログラムの開催日程に沿って開催（原則13:00～17:00）（メンバー交流は18:00まで）

開 催：開催当初は「会場開催」と「オンライン（Zoom）開催」の併用開催となります。

*状況により順次会場開催（東京都内の会議室）を検討してまいります。

参加ご検討の方は
第1回例会を
「体験参加」頂けます
（要事前予約）

第1回例会

日時：2024年12月16日(月) 14:00～18:30

基調講演／オリエンテーション：前期活動紹介／今期の討議テーマの紹介／メンバー交流

【基調講演①】マーケティングマインドの企業のみが生き残る

～YOKOGAWAのマーケティングによる企業改革と新規事業創出～

（ご講演）横河電気(株) 執行役常務 マーケティング本部本部長 CMO/
アムニモ(株) 取締役／シンクレスト(株) 取締役

阿部 剛士 氏



経歴

1985年 現インテル(株)入社、2002年以降、インテル・アーキテクチャ技術本部本部長、マーケティング本部本部長、技術開発・製造技術本部本部長を歴任。
2009年以降、取締役、取締役 副社長、取締役 兼 副社長執行役員を歴任。
2016年 横河電機(株)入社、R&D、M&A、知財、新事業開拓、事業計画、標準化戦略、オープンイノベーション、工業デザインなどを傘下にマーケティング本部を統括、現在に至る。

第2回例会

日時：2025年1月22日(水) 13:00～17:00

コーディネーター講演／テーマ別分科会討議開始

【コーディネーター講演】ISO56002に基づくオープン・イノベーションの マネジメントシステム「OI-IMS」創りの重要性

（ご講演）（一社）Japan Innovation Network 常務理事 IMSエバンジェリスト
（元 大阪ガス(株) オープン・イノベーション室長）

「本推進者交流会議」全体コーディネーター 兼 ファシリテーター

松本 毅 氏



【テーマ別分科会討議開始】固定メンバーでグループを編成し、以降、継続討議頂きます。

第3回例会

日時：2025年2月21日(金) 13:00～17:00

特別対談／テーマ別分科会討議 第2回

【特別対談】豊嶋 敬 氏(株)シマノ 代表取締役副社長)をお招きし

「イノベーションマネジメントのあるべき仕組み(仮題)」を対談

(ファシリテート) 松本 毅 氏 (一社) Japan Innovation Network 常務理事 IMSエバンジェリスト



経歴

2001年10月 オリンパス光学工業(株)映像システムカンパニー映像開発部長兼映像購買部長、以降、同社映像開発・購買本部長兼デザイン室長、奥林巴斯香港中国有限公司董事 総経理、オリンパスイメージング(株)取締役映像購買本部長兼コンポーネント事業推進部長兼映像OEM調達部長。
2007年5月 (株)シマノ入社 バイシクルコンポーネンツ（以下BC）事業部技術顧問、取締役BC事業部システム開発部長、常務取締役技術担当。2019年専務取締役SDM推進本部長兼BC事業部技術担当兼技術開発部長等々を歴任。2021年3月 代表取締役副社長、現在に至る。

【テーマ別分科会討議、第2回目】

構成と推進体制

■全体コーディネーター 兼 ファシリテーター：松本 毅 氏

一般社団法人 Japan Innovation Network 常務理事
IMS(イノベーション・マネジメントシステム)エバンジェリスト
(元 大阪ガス株式会社 オープン・イノベーション室長)



【経歴概略】 1981年に大阪ガス(株)入社後、数々の新規事業創出に成功。凍結粉碎機の開発、受託粉碎ビジネス立ち上げ。特別プロジェクトグループリーダー。薄膜センサーの研究開発・事業化。基盤研究所研究企画リーダー。東京駐在として、技術開発国家プロジェクトを多数立ち上げた。技術企画室課長。大阪ガスの全社技術戦略の企画立案、海外との技術アライアンス戦略などを推進。人事部で日本発のMOT(技術経営)スクールを設立し、教育事業を推進。2008年9月、技術戦略部 オープン・イノベーション担当部長、2009年4月、オープン・イノベーション室長。

2016年4月から2019年2月まで、株式会社ナインシグマ・ジャパン ヴァイスプレジデント。2019年3月から2020年9月までナインシグマ・アジアパシフィック顧問。2020年から兼務でリンカーズ株式会社 顧問 (Open Innovation Evangelist)

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「自己評価委員会」委員/内閣府日本オープンイノベーション大賞専門委員会委員/ NPO法人産学連携学会 理事/大阪市「イノベーション創出支援補助金検討会委員会」委員長/経済産業省「グローバルオープンイノベーションに向けた国際共同研究の在り方に関する調査委員会」委員/日本学術振興会「『未来を創造するイノベーションサイエンスの創成』に関する先導的研究開発委員会」委員/文部科学省・JST国プロ「理化学研究所 健康“行き活き”リサーチコンプレックス推進プログラム事業化支援グループ」ディレクター/(理化学研究所・非常勤職員 2015年~2020年)などを歴任。

■研究アドバイザー：研究討議に助言・コメントを頂きます。

元 P&Gイノベーション合同会社 研究開発本部ヘッド オープンイノベーション〈日本・韓国〉

J.ラダー キリシャナン ナーヤ 氏

■運営幹事：メンバーを代表し本会議の企画・運営にご支援ご協力を頂きます(氏名50音順)。

(株)ニチレイフレッシュ 調達生産本部 水産戦略部企画グループ プロフェッショナル 高田 理一郎 氏

富士フイルムビジネスイノベーション(株) デバイステクノロジー事業本部 化成品開発部 画形材開発推進G 中曾 優 氏

日立建機(株) オープンイノベーション推進室 主任技師 西口 仁視 氏

サントリーホールディングス(株) 研究企画部 課長 前川 知浩 氏

味の素(株) バイオ・ファイン研究所 企画・推進 山下 穰 氏

ほか実務家数氏にご依頼、ご調整中

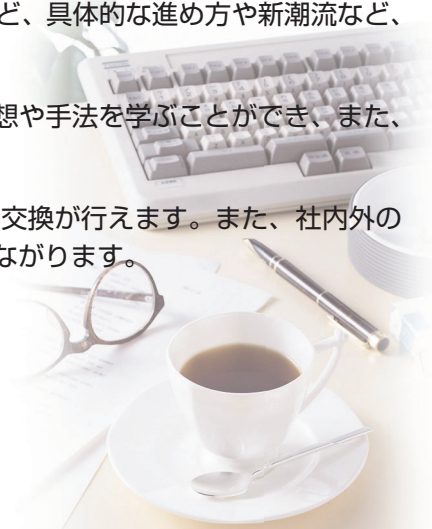
本交流会議の特長と基本方針

■特長(異業種研究交流会の価値)：

1. オープン・イノベーションの目的、組織の役割機能、社内外連携、仕組みづくりなど、具体的な進め方や新潮流など、先進事例研究・ゲスト講演から理解が深まります。
2. 知識、経験の交流を深めることにより、業種・業態・組織の壁を超えた新しい発想や手法を学ぶことができ、また、共同研究(分科会討議活動)を通じて、現場で活かせる施策を共有します。
3. 単なる情報交換だけでなく、情報や意見の背景にある実務に直結したノウハウの交換が行えます。また、社内外のネットワークを広げ、パーソナルバリューの向上、メンバー企業間の交流にもつながります。

■基本方針：会合の参加に際してのお願い

1. 会議の目的達成のため、可能な限りギブアンドテイクをモットーに参画する。
2. 本音ベースの議論を深めるため、互いの守秘義務を遵守する。
3. 企業規模、役職、経験に関係なく積極的に参加する。



今期（第11期）の「分科会討議 4つのテーマ」のご紹介

テーマ	討議のポイント
テーマ1 ISO56002(イノベーション・マネジメントシステム)の理解と実践	ISO56002（イノベーション・マネジメントシステム）をベースに各社のオープンイノベーション活動を互いに理解する。さらにISO56002（イノベーション・マネジメントシステム）の実践として、各自アイデア創出を行い、その中のいくつかのアイデアをブラッシュアップしビジネスモデル構築を体験してみたい。 (想定対象者) 特に限定はしませんが、食品・化粧品・医薬品・その他素材系業界の方、またはそれらのビジネスモデル構築を体験したい方。
テーマ2 「食の領域(フードテック)」でオープンイノベーションを前提とした議論を通して実現性へのノウハウ習得	「食」領域のアイデアを事業化するためにオープンイノベーションを活用し、どうしたら実現できるのか、をメンバーでの議論・考察を通して得た気づき、学び、知見を、推進者として自社の運営に活かす。メンバーで仮想アイデアを創出し、提供価値の実現、マネタイズも考慮し、実現性に重点を置いた議論を展開して実践知になるような活動をしていきます。 (想定対象者) 食の領域でイノベーションを実践している方、フードテックのアクセラレーターで議論を通して成長したい方、フードテックに興味があり、積極的な議論に参加できる方、主体的に参加し実現に向けて活動している方々と人脈を作りたい方、現状の業務が食関連以外の方、大歓迎です。
テーマ3 外部パートナーの探索手法のメカニズム理解と使い分け	O推進者にとって最も重要な技術は何でしょうか？それは、共創に適した外部パートナーを探す技術です。この能力に磨きをかけないまま新規事業の取り組みを進めていけば、いずれ同様の取り組みをする周囲に埋没しかねません。余人に代えがたい「探す」技術を持つことは、O推進者が永続的に活動し続ける点で極めて重要です。本分科会では「探す」に焦点を当て、そのメカニズム理解と本業で周囲を牽引できるレベルに体得することを目指します。 (想定対象者) 探すメカニズムを、これまで深く理解してこなかった方／探すレベルをもっと高めたい方。
テーマ4 O推進者が取り組むこと ～1st STEPから2nd STEPに～	自社の状況整理、互いの会社の意図や強み、課題を共有した上で、ISO 56002の「4章：組織の状況、6章：計画、7章：支援体制、8章：活動」を読み解きながら、各社の組織の状況を分析し合い、向かうべき方向、取り組むべきオープンイノベーションを仮説・提案してみたいと思います。 (想定対象者) O担当になったが、何から始めるべきか悩んでいる方、担当になってしばらく経つが、成果が実感できておらず見直しを検討の方など。

※上記4つのテーマから参加希望アンケートを実施後、4つの分科会に分かれて第2回例会から継続して集中討議を進めます。

第11期の年間プログラム

例会	研究テーマ／講演・討議内容
第1回 2024年 12/16(月)	【基調講演①】 マーケティングマインドの企業のみが生き残る ～YOKOGAWAのマーケティングによる企業改革と新規事業創出～ 横河電気㈱ 執行役常務 マーケティング本部本部長 CMO 阿部 剛士 氏 【オリエンテーション:前期活動紹介／今期の4つの分科会討議テーマ紹介／メンバー交流前など】
第2回 2025年 1/22(水)	【コーディネーター講演】 ISO56002に基づくオープン・イノベーションのマネジメントシステム「O-IMS」創りの重要性 (一社) Japan Innovation Network 常務理事 IMSエバンジェリスト 松本 毅 氏 【テーマ別分科会討議(※)開始】 固定メンバーでグループを編成、以降、継続討議頂きます。
第3回 2/21(金)	【特別対談】 豊嶋 敬 氏(株シマノ 代表取締役副社長)をお招きし 「イノベーションマネジメントのあるべき仕組み(仮題)」を対談 (ファシリテート)松本 毅 氏 (一社)Japan Innovation Network 常務理事 IMSエバンジェリスト 【テーマ別分科会討議 第2回】
第4回 3/19(水)	第4回例会以降は下記の時間構成で進めてまいります。 <div><div>第1部 ゲスト講演</div><div>ゲスト講演では、主要企業のO担当幹部、推進リーダーや専門家をゲストに招き取り組み事例を拝聴。また、施設を訪問しての意見交換も検討。 13:00～15:00</div></div> <div><div>第2部</div><div>テーマ別分科会討議(※) 15:00～17:00</div></div> <div>【分科会討議の狙いと方向】<ul style="list-style-type: none">参加者の悩みを積極的に披露して、他のメンバーからの意見などを参考に自社＆自身の課題解決につなげる。メンバー共通の課題について、あるべき姿を描き、その実現に向けた施策について、議論・検討する。あわせて、自社内での具体的な展開シナリオを策定し、実施の糸口とする。</div> <div><p>※日程等が変更となる場合がございます。その際は速やかにご案内いたします。</p><p>※第6回例会(5月中下旬開催)では、一泊二日の合宿研究会を予定。</p><p>※初日は、先進企業のイノベーション活動拠点・協創スペースの見学とお取組み拝聴、2日目は テーマ別の分科会討議を実施。</p><p>※その他、お取組取材インタビューやメンバーアンケート、懇親会なども企画しています。</p></div>
第5回 4/16(水)	
第6回 5月中下旬 調整中	
第7回 6/25(水)	
第8回 7/23(水)	
第9回 8/27(水)	【分科会による集中討議～最終例会に向けたまとめ】 これまでの議論を整理し、課題解決策、現場で活かせる提案等にまとめて頂きます。
第10回 9/17(水)	【最終例会】 分科会研究討議成果の発表と新たな課題意識の共有

前期（第10期）の活動経過

第1回	【基調講演①】OKIのイノベーション・マネジメントシステム 同社 執行役員イノベーション責任者(CIO) 【オリエンテーション／前期成果報告／課題意識の提示／メンバー交流】
第2回	【基調講演②】マーケティング&イノベーションによる新規事業創出 旭化成(株) 顧問 【グループ討議による課題意識の共有】
第3回	【コーディネーター講演】ISO56002に基づくOIのマネジメントシステム創りの重要性 (一社) Japan InnovationNetwork 常務理事 松本 毅 氏
第4回	【現地訪問・お取組み拝聴】京セラみなとみらいリサーチセンター 技術展示、共創スペースなどの見学とお取組み拝聴、意見交換 【テーマ別分科会討議、第2回】
第5回	【アドバイザー講演&対談】P&Gでのオープンイノベーション活動 元 P&Gイノベーション合同会社 研究開発本部ヘッド 【テーマ別分科会討議、第3回】
第6回	【ゲスト講演】京都リサーチパークの取組み、活動紹介意見交換 京都リサーチパーク(株) 代表取締役社長 【テーマ別分科会討議、第4回】
第7回	【合宿研究会】〈ゲスト講演〉KOAにおけるオープンイノベーション活動 KOA(株) IMS推進センターゼネラルマネージャー 〈テーマ別分科会合宿集中討議、第5回〉
第8回	【ゲスト講演】書籍「OI担当者が最初に読む本」とイノベーション活動に役立つ文献紹介 スイス・ビジネス・ハブ 羽山 友治 氏 【テーマ別分科会討議、第6回】
第9回	【テーマ別分科会討議、第7回】これまでの議論の整理と成果報告に向けての集中討議
第10回	【分科会活動報告会】議論・研究討議の報告と成果資料交換・全体共有

前期（第10期）参加企業

味の素 バイオ・ファイン研究所 企画・推進	ニチレイ 新価値創造部	日立建機 オープンイノベーション推進室
オルガノ 開発センター 企画管理部	ニチレイ 新価値創造部	日立建機 オープンイノベーション推進室
京セラ オープンイノベーション推進部 オープンイノベーション推進2課責任者	日揮ホールディングス 戦略企画オフィス 経営企画ユニット 部長	富士フイルムビジネスイノベーション デバイステクノロジー事業本部 画材開発推進G
京セラ オープンイノベーション推進部 オープンイノベーション推進2課	日揮ホールディングス イノベーション自動化推進G グループマネージャー	富士フイルムビジネスイノベーション デバイステクノロジー事業本部 画材開発推進G 技術主幹
経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課	日鉄ケミカル&マテリアル 知的財産部 知財契約・渉外グループ	富士フイルムビジネスイノベーション デバイステクノロジー事業本部 画材開発推進G
サントリーホールディングス 研究企画部 課長	日鉄ケミカル&マテリアル 機能材料戦略企画部	三菱ガス化学 東京研究所
サントリーホールディングス 研究企画部	パナソニック インダストリー 事業開発センター 市場開発部 主幹	三菱ガス化学 東京研究所
日本製紙 企画本部 SN推進センター 主席調査役	パナソニック インダストリー 事業開発センター 市場開発部 課長	LIXIL 技術企画部 リーダー
日本製紙 企画本部 SN推進センター	日立建機 オープンイノベーション推進室 主任技師	LIXIL 技術企画部オープンイノベーション推進グループリーダー

参加要領

【事業コード：240171】

■参加費（1口で2名までご参加頂けます）

正会員	308,000円 (本体価格280,000円)	一般	330,000円 (本体価格300,000円)
-----	----------------------------	----	----------------------------

- ❖ 分割等のお支払いも可能です。ご相談ください。
- ❖ 上記参加費には、資料代、懇親会費と合宿研究会の1名様分の費用(※)を含みます。
 - ※ 合宿研究会に2名でご参加の場合、他に1名分として35,000円(税込)程度をご負担頂きます。
 - ※ 合宿研究会時の行き帰りの交通費は含まれません。
- ❖ 年間スケジュール以外の特別会合や懇親会、見学会等実施の際には別途実費を頂きます。
- ❖ コンサルティングやオープンイノベーション仲介・支援関係の方々のご参加はご遠慮頂く場合がございますので、予めご了承下さい。

■申込方法

- WEBからの申込
企業研究会のホームページから「お申込み下さい」。
- Eメールでの申込：下記担当まで以下をお知らせください。
 - ①御社名、②郵便番号／所在地、③参加者お名前（ふりがな）、④ご所属・お役職、⑤メールアドレス、⑥電話番号、⑦「正式参加(※1)」または「体験参加(※2)」
 - ※1 正式参加の方には請求書をお送りいたします。
 - ※2 正式参加の前に体験参加を承っております（要予約制）。

■お問合せ・お申込先

一般社団法人 企業研究会 担当：小野原（おのはら）
E-mail: onohara@bri.or.jp TEL: 080-1393-5593
〒110-0015 台東区東上野1-13-7 ハナブサビル <https://www.bri.or.jp>

第11期 オープン・イノベーション推進者交流会議 